

件 名	令和4年度大阪府新学力テスト（小学校すくすくテスト）への参加について
提 案 理 由	<p>「大阪府新学力テスト（小学生すくすくウォッチ）」（大阪府教育委員会主催の調査）は、子どもたち一人ひとりが学びの基盤となる言語能力や読解力、情報活用能力等を向上させ、これからの予測困難な社会を生き抜く力を着実につけることを目的として、結果分析をもとに学校教育の改善・充実等に取り組むよう実施するものである。調査に参加することで、本市の教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童への個別指導、教科指導の充実等に役立てることができる。</p> <p>一方、小学6年生の全国学力・学習状況調査との同日実施にかかる負担感やアンケート調査について重複などの課題もある。</p> <p>それらを踏まえ、「令和4年度大阪府新学力テスト（小学校すくすくウォッチ）実施要領」に基づき、令和4年度大阪府新学力テスト（小学生すくすくウォッチ）へ参加することについて議案上程するものである。</p>
議案（報告）の概要又は要旨	<p>○令和4年度大阪府新学力テスト（小学生すくすくウォッチ）の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施日 令和4年4月18日（月）～4月26日（火）の間に実施 ※令和4年度全国学力・学習状況調査は4月19日（火）実施 ・実施対象 小学校5学年、6学年の全児童 ・調査内容 5年生 国語、算数、理科及び教科横断的な問題、アンケート 6年生 教科横断的な問題、アンケート <p>○検討のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料1 「令和4年度大阪府新学力テスト（愛称：小学生すくすくウォッチ）実施要領」 ・資料2 「わくわく問題の活用と子どもの負担感について」 ・資料3 「個人票について」 ・資料4、5 「アンケート調査の提供資料について」
備 考	
議決後必要となる取組	<p>この案件の教育委員会議決後は、</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 上記案により、公布する。 <input type="checkbox"/> 令和 年 第 回市議会（定例会・臨時会）に提出する議案については、異議がないものとして回答する。 <input checked="" type="checkbox"/> その他（大阪府教育庁 市町村教育室小中学校課へ回答）

議案第32号

令和4年度大阪府新学力テスト（小学生すくすくテスト）への参加について

このことについて、大阪府教育委員会が実施する令和4年度大阪府新学力テスト（小学生すくすくテスト）へ参加するものとする。

ただし、児童アンケート及び教員アンケートは受検しない。

令和3年10月26日
堺市教育委員会
教育長 日渡 円

令和4年度 大阪府新学力テスト（愛称：小学生すくすくウォッチ）実施要領

1 趣旨・目的

子どもたち一人ひとりが、学びの基盤となる言語能力や読解力、情報活用能力等を向上させ、これからの予測困難な社会を生き抜く力を着実につけることを目的とする。

その目的を達成するため、すくすくウォッチの実施を通して、子ども、家庭、学校、市町村教育委員会、大阪府教育委員会は、問題及びアンケートの結果や分析等から、以下の取組みの充実に努める。

(1) 児童

自分の学びをふりかえり自らの強みや弱みなどを知って新たな目標をたて、強みをのばすことや課題を克服すること等に取り組む。

(2) 家庭

子どもの伸びや課題を知り、子どもを誉め、励ます等によって、子どもを支援する。

(3) 学校

- ① 教員が、子ども一人ひとりの学びに対する思いや強み弱みを知り、一人ひとりの実態に合わせた指導を行う。
- ② 教員が、授業等の指導改善を図る。
- ③ 教員が、学習の基盤となる集団づくり等の取組みを充実させる。
- ④ 学校全体として、教員一人ひとりの指導の充実に図るための校内研修等の工夫を図る。

(4) 市町村教育委員会

- ① 各学校の状況を把握し、提供された分析資料を参考に適切な指導・助言を行う。
- ② 市町村の状況に応じた教育の充実のため、施策を推進する。

(5) 大阪府教育委員会

- ① 出題する問題やアンケート項目及びその解説を通じて、今求められる学力や、その指導のポイント等について具体的に示す。
- ② 今後の取組みの参考となる分析資料を各児童、各学校、各市町村教育委員会へ提供する。
- ③ 府全体の状況を把握し、課題に対応するための取組みを推進する。

2 問題及びアンケートの内容等

(1) 児童

① 対象

府内の市町村立小学校、義務教育学校前期課程、支援学校小学部及び府立支援学校小学部（学校）の第5学年、第6学年の全児童。

② 実施内容

ア 第5学年は、国語、算数、理科及び教科横断型問題、第6学年は、教科横断型問題とする。

- ・ 出題範囲は、「小学校学習指導要領（平成29年告示）」に示された内容で、各学年とも原則として前学年までの学習内容
- ・ 教科問題については、当該学年までに定着すべき学習内容で、基礎的な知識及び技能とともに、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力を問う問題等
- ・ 教科横断型問題については、特定の教科の枠にとらわれず、複数の文書や資料から情報を読み取ったり、問いに対して判断の根拠や理由を明確にして自身の考えを表現したりする力を問う問題等
- ・ 出題形式は、選択式及び短答式に加え、記述式

イ 児童アンケート

児童自身の目標に向かって頑張る力、気持ちをコントロールする力、人と関わる力、次の学びや生活にいかす力、好奇心等に関する内容や、学習状況、学級や授業等に関する意識等のアンケートを実施する。

(2) 教員

① 対象

府内の市町村立小学校、義務教育学校前期課程、支援学校小学部及び府立支援学校小学部（学校）の第5学年、第6学年の学級担任及び当該学年に関わる教員等。

② 実施内容

教員アンケート

教員自身の授業や指導、学校や学級の様子や取組み等に関するアンケートを実施する。

3 問題及びアンケートの実施期間・場所・時間

(1) 実施期間

令和4年4月18日（月）～4月26日（火）とする。

(2) 実施場所及び時間

① 実施場所は、各学校とする。

② 問題及び児童アンケートの時間は、以下のとおりとする。

ア 国語、算数、理科は、それぞれ20分とする。

イ 教科横断型問題は、40分とする。

ウ 児童アンケートは20分程度とする。

③ 教員アンケートは、学校への配付から回収までの期間のうち任意の時間に実施する。

4 問題・アンケートの作成及び実施並びにその後の取組みの実施体制

- (1) 問題・アンケートの作成にあたっては、府内市町村教育委員会との協議をふまえ、読解力や情報活用能力などの育成に関する有識者、教育心理学・認知心理学などに関する有識者、大阪府教育センター、大阪府教育庁の代表者により構成された問題及びアンケート作成のワーキングチームにより協議のうえ作成する。
- (2) 大阪府教育委員会は、問題・アンケートの実施に関わり、問題冊子等の作成・配送・回収、結果の採点・集計・分析、教育委員会・学校への結果の提供作業等を行う。
- (3) 市町村教育委員会は、実施責任者及び担当者を指名するとともに、設置管理する学校からの相談に対応する等の実施体制を整備する。
- (4) 学校は、実施責任者及び担当者を指名するとともに、適切に実施する。
- (5) 結果の分析を受けて、大阪府教育委員会及び市町村教育委員会の代表者で、その後の必要な取組みを協議し、それぞれの立場から協力して取組みを進めていく。
※ 大阪府教育委員会は問題・アンケートの作成にあたり、業務の一部を民間機関に委託する。

5 問題及びアンケート結果の取扱い

(1) 結果分析

① 問題の結果分析

- ア 国語、算数、理科、教科横断型問題（以下、「各教科」という。）の状況（観点別正答率、通過率 等）
- イ 各教科の設問ごとの状況（正答率、解答類型別児童の割合、通過率 等）

② アンケートの結果分析

- ア 児童アンケート及び教員アンケートの回答状況
- イ 児童アンケートの回答状況と各教科の結果等との相関関係の分析
- ウ 教員アンケートの回答状況と各教科の結果等との相関関係の分析
- エ 教員アンケートの回答状況と児童アンケートの回答状況との相関関係の分析

③ その他、すくすくウォッチの目的の達成に資する分析

なお、全国学力・学習状況調査結果を同様に分析した結果の提供も行う。

(2) 提供資料

① 児童

自身の結果とともに、強みや弱み、今後のアドバイスを記載した個人票

② 学校

- ア 当該学校全体、学年ごと、学級ごとの状況を表すデータ
- イ 各児童の状況を表すデータ
- ウ 各児童に関する個人票データ

エ その他、すくすくウォッチの目的の達成に資する結果データ

③ 市町村教育委員会

ア 学校に提供したデータ

イ 当該市町村教育委員会が設置管理する学校全体の状況を表すデータ

ウ 当該市町村教育委員会が設置管理する各学校の状況を表すデータ

エ その他、すくすくウォッチの目的の達成に資する結果データ

(3) 教育委員会及び学校による各教科及びアンケート結果の公表

各教科及びアンケート結果については、すくすくウォッチの目的を達成するために、教育委員会や学校が、教育施策及び教育について、保護者や地域住民に対して説明責任を果たすことも重要であることを踏まえ、以下のとおりとする。

① 大阪府教育委員会は、大阪府全体の状況及び市町村の状況について公表する。

② 市町村教育委員会は、すくすくウォッチの趣旨に基づき、域内の状況にかかる結果や取組みの説明に努める。

また、自らが設置管理する学校の結果については、それぞれの判断において公表することは可能とする。この場合、個々の学校名を明らかにした公表を行うことについては、すくすくウォッチの趣旨・目的を踏まえ、必要性について慎重に判断すること。

③ 学校は、保護者等に自校の結果について、すくすくウォッチの趣旨・目的を達成するために、公表することは可能とする。

(4) 各教科及びアンケート結果の取扱いに関する配慮事項

各教科及びアンケート結果については、すくすくウォッチの趣旨・目的を達成するため、適切に取り扱うものとする。

各教科及びアンケート結果の公表に関しては、教育委員会や学校が、保護者や地域住民に対して説明責任を果たすことが重要である一方、児童等への影響を十分配慮し、各学校の教育活動に支障を及ぼすことのないようにすること。

このことを踏まえ、具体的な公表の手続き等は以下のとおりとする。

① 公表にあたっては、すくすくウォッチの趣旨・目的に基づき、教育上の効果や影響等を考慮した上で、適切な内容と方法で行うこと。

② 各教科及びアンケート結果の公表を行う教育委員会又は学校においては、単に平均点などの数値のみの公表は行わず、各教科及びアンケート結果の分析を踏まえた取組みや、すくすくウォッチの趣旨・目的に基づいた今後の方策を示すこと。

③ 市町村教育委員会が個々の学校名を明らかにした各教科及びアンケート結果について公表を行う場合、当該学校と公表する内容や方法等について事前に十分協議すること。

なお、数値を一覧にした公表や数値により順位を付した公表などは行わないこと。

④ 大阪府教育委員会は、学校ごと（設置管理する小学校が1校しかない町村にあっては、町ごと又は村ごと）の各教科及びアンケート結果については、大阪府情報公開条例

第8条第1項第4号の規定を根拠として、同条例における非公開情報として取り扱うこととする。なお、学校名を明らかにしない公開であっても同様とする。

また、市町村教育委員会は、それぞれの地方公共団体が定める情報公開条例に基づく規定を根拠とし、本実施要領の趣旨を十分踏まえ、適切に対応すること。

6 各教科及びアンケート結果の活用

各教科及びアンケートの結果からすくすくウォッチの趣旨・目的に基づいた取組みを進めるにあたり、以下の取組みの推進に努めることとする。

- (1) 教員は、個人票等を活用し、児童一人ひとりがすくすくウォッチの趣旨・目的に基づいた取組みを推進できるよう、児童、保護者等に説明し、その後の指導にいかすこと。
- (2) 学校は、教員の指導の充実を図るための校内研修等を開催するなど、すくすくウォッチの趣旨・目的に基づいた取組みを進めるとともに、授業等の指導改善及び学習の基盤となる集団づくり等の取組みを進めること。
- (3) 市町村教育委員会は、教員研修や学力向上担当者会等を開催するなど、すくすくウォッチの趣旨・目的に基づいた取組みを進めるとともに、教育施策および教育の改善を進めること。
- (4) 大阪府教育委員会は、すくすくウォッチの解説資料や事後の指導のための資料を提示するなど、すくすくウォッチの趣旨・目的に基づいた取組みの参考にできるものを具体的に示す等、学校、市町村教育委員会の支援策を進めること。

7 留意事項

- (1) 各教科及びアンケートは、大阪府教育委員会が市町村教育委員会の協力を得て実施する。
- (2) 市町村教育委員会及び学校においては、各教科及びアンケートの実施に関して知り得た秘密については、その保持を徹底すること。
- (3) 市町村教育委員会及び学校においては、提供された各教科及びアンケート結果等について、本実施要領に基づいて適切に活用するとともに、管理を徹底すること。
- (4) 個人情報の保護
 - ① 大阪府教育委員会及び大阪府教育委員会が委託した民間機関は、児童・教員の個人名等を取得しない方法を用いること。
 - ② 市町村教育委員会及び学校は、実施に際して知り得た個人情報について、それぞれが遵守すべき個人情報保護関連法令又は地方公共団体の定める条例に基づき、適切に取り扱うこと。
- (5) 教育課程上の位置付け
教育課程上の位置付けについては、市町村教育委員会及び学校の判断により、当該教科の授業時数の単位時間の一部として取り扱うことができる。また、アンケートについては、特

別活動（学級活動）の一部として取り扱うことができる。しかし、教科横断型問題については、その性格上特定の教科として教育課程上、位置づけることはできない。

(6) 障がいのある児童への配慮及び対応

障がいのある児童については、学校が、児童、保護者と協議のうえ、各教科及びアンケートの実施を柔軟に対応すること。なお、各教科及びアンケートの実施にあたっては、当該児童の個別の指導計画に基づき、教科・問題の選択、時間の延長、別室の設定などの配慮を行うこと。また、大阪府教育委員会は市町村教育委員会と協議して、当該児童の障がいの種類や程度に応じた問題用紙等の作成・配付に努める。

(7) 日本語指導が必要な児童への配慮及び対応

日本語指導が必要な児童については、学校が、児童、保護者と協議のうえ、各教科及びアンケートの実施を柔軟に対応すること。なお、各教科及びアンケートの実施にあたっては、当該児童の個別の指導計画に基づき、教科・問題の選択、時間の延長、別室の設定などの配慮を行うこと。また、大阪府教育委員会は市町村教育委員会と協議して、当該児童に応じた問題用紙等の作成・配付に努める。

(8) その他、支援が必要な児童への配慮

支援が必要な児童については、学校が、児童、保護者と協議のうえ、各教科及びアンケートの実施を柔軟に対応すること。なお、各教科及びアンケートの実施にあたっては、当該児童の状況に応じて、教科・問題の選択、時間の延長、別室の設定などの配慮を行うこと。

(9) 実施マニュアルの作成・配付

具体的な実施方法等については、別途示す。

わくわく問題への参加に関する論点整理

論点	参加のメリット・デメリット		備考
わくわく問題の活用に関すること	参加するメリット (5・6年生共通)	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 教科横断的な問題に触れることができる。 ➤ <u>5つの力が把握</u>できる。 (評価については、★で示された採点基準があいまいで改善方法の信憑性に欠けるという課題がある。) ➤ 5, 6年生で経年比較ができる。 (個人票のレーダーチャートの表示に課題あり) ➤ <u>わくわく問題の調査結果のデータ</u>が増える。 ➤ <u>問題を活用</u>した学習の実施 (研修などで活用方法を伝達する必要がある) 	<ul style="list-style-type: none"> ・★で示された<u>採点基準</u>があいまいであることから、基準を示すなどの改善を府教委に要望を検討。 ・<u>レーダーチャート</u>は、経年比較ではなく個人の結果のみを表示するなど府教委に要望を検討。 ・全国学力・学習状況調査との<u>紐づけた個人票</u>は提供されておらず、中学校の調査への紐づけも不明。 ・チャレンジテストとの紐づけも測定している力が異なり<u>経年比較は難しい</u>。 ・支援学級在籍児童の紐づけが不明。<u>中学校段階への接続による経年比較が課題</u>。
	参加するデメリット (6年生)	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 個人票のレーダーチャートの表示について経年比較の信憑性が欠けている。(6年生が参加した場合のデメリット) 	
負担感に関すること	参加するメリット (5・6年生共通)	<ul style="list-style-type: none"> ➤ なし 	<ul style="list-style-type: none"> ・同時期に実施することが負担という意見と別日にすれば負担は少ないという意見があり子どもの状況によって異なる。
	参加するデメリット (6年生)	<ul style="list-style-type: none"> ➤ <u>子どもの負担</u>・・・2種類の調査を同日実施の場合は4.5時間、全国学力・学習状況調査のみの場合は3時間要する。 (1.5時間増) ➤ <u>教員の負担</u>・・・調査監督の打ち合わせ時間がすすくウオッチの調査分増加(わくわく問題だけでも6年生の教員は、すすくウオッチ全体の把握は必要) 	

個人番号	年	組	番	名前
1234567	5			

1(1) 資料を読み取り、食べ物に関わるゴミの量などを計算し、正しい説明を答える

【問う力A：図や表、文章などのつながりを見つけ、正しく理解する力】

		平成28年	平成29年
お店	食べ物に関わるゴミ	1970万トン	1767万トン
	そのうち食品ロス	352万トン	328万トン
家庭	食べ物に関わるゴミ	789万トン	783万トン
	そのうち食品ロス	291万トン	284万トン

★★★の答え イ お店と家庭の食品ロスの量の合計は、平成28年から平成29年の1年で、30万トン以上へっている。

★ 12ポイント100文字12ポイント100文字12ポイント100文字12ポイント100文字12ポイント100文字12ポイント100文字12ポイント100文字12ポイント100文字12ポイント100文字12ポイント100文字

1(2) 会話の中から、なぜ食品ロスを出してしまうのかを考えて、食品ロスを減らす方法を書く

【問う力B：図や表、文章などのつながりを見つけ、正しく理解し、自分の考えを持ち伝える力】

わたしの家では家にある食品をまた買ってくるから、結局使いきれずにすててしまって、食品ロスになることが多いみたいなの。



★★★の例 家に残っている食品のメモを取ってから、家がないものだけを買に行くようにする。

★ 12ポイント100文字12ポイント100文字12ポイント100文字12ポイント100文字12ポイント100文字12ポイント100文字12ポイント100文字12ポイント100文字12ポイント100文字12ポイント100文字

1(3) 食品ロスを減らすと、どのような問題が解決し、その問題がなぜ解決するのかを、資料をもとに説明する

【問う力B：図や表、文章などのつながりを見つけ、正しく理解し、自分の考えを持ち伝える力】

【問う力C：図や表、文章などのつながりを見つけ、新しく課題を考える力】

資料の一部

調べたこと
すてられた食べ物のゆくえ

- すてられた食べ物は、ゴミとしてもやされる
- もやすと二酸化炭素が出る

調べたこと
食べ物が自分たちのところにとどくまでで気づいたこと

〈育てる〉
・たくさんのお水や土地や肥料を使って、食べ物となる農作物を育てている
⇒ 田畑を広げるために森林を切り開くこともある

〈運ぶ〉
・作った場所（日本や外国のいるいるな産地）から、自動車や船を使って、お店や家に運ばれる
⇒ 自動車や船を動かすと、二酸化炭素が出る

〈二酸化炭素とは？〉
・空気にふくまれている気体
・地球の気温を上げるこう果がある気体だと考えられている

★★★の例 食品ロス以外の問題：地球温暖化
食品ロスを減らすことでなぜその問題の解決につながるのか：食品ロスを減らすと、ゴミとして燃やす量が減り、二酸化炭素があまり出なくなるからです。

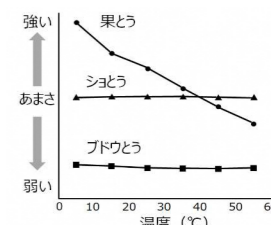
★ 12ポイント100文字12ポイント100文字12ポイント100文字12ポイント100文字12ポイント100文字12ポイント100文字12ポイント100文字12ポイント100文字12ポイント100文字12ポイント100文字

2(2) 与えられた情報（会話文、グラフ）をもとに、ぶどうを冷やすと甘くなる理由を説明する

【問う力B：図や表、文章などのつながりを見つけ、正しく理解し、自分の考えを持ち伝える力】



ぶどうには、あまく感じる「果とう」が多くふくまれているからだよ。「果とう」以外にも、果物には「ショとう」や「ブドウとう」など、あまく感じる成分がふくまれているんだよ。



★★★の例 ぶどうに多く含まれている果糖は、冷やすと甘くなるから。

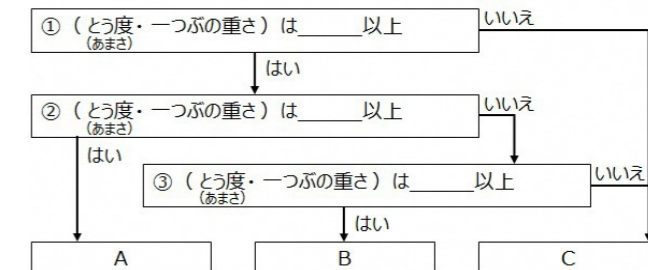
★ 12ポイント100文字12ポイント100文字12ポイント100文字12ポイント100文字12ポイント100文字12ポイント100文字12ポイント100文字12ポイント100文字12ポイント100文字12ポイント100文字

2(3) 与えられた情報（表）をもとに、ぶどうのランク分けを順序よく考え、正しく書く

【問う力D：図や表、文章などのつながりを見つけ、順序よく筋を通して考える力】

ランク	A (とても良い)	B (良い)	C (ふつう)
とう度 (あまさ)	17度以上	17度以上	16度以上
一つぶの重さ	14g以上	12g以上	12gより小さい

ただし、とう度（あまさ）と一つぶの重さのランクがちがう場合は、低い方のランクになる



★★★の答え ① とう度 (あまさ) は 17度 以上
② 一つぶの重さ は 14g 以上
③ 一つぶの重さ は 12g 以上

★ 11ポイント130文字11ポイント130文字11ポイント130文字11ポイント130文字11ポイント130文字11ポイント130文字11ポイント130文字11ポイント130文字11ポイント130文字11ポイント130文字

あなたの結果の見方

★★★★ : 正解の中でも素晴らしいもの
★★★★ : 正解
★★ : もう少し
★ : 見直してみよう

個人番号	年	組	番	名前
1234567	5			

3(1) ヘルメットの大切さを伝える「交通安全のポスター」が、どのような工夫をしているのか【ひかりさんのまとめ】の内容を参考に自分の考えを書く

【問う力A：図や表、文章などのつながりを見つけ、正しく理解する力】

【問う力B：図や表、文章などのつながりを見つけ、正しく理解し、自分の考えを持ち伝える力】

【ひかりさんのまとめ】

- ポスターをかく前に考えること
 - ・「だれ」に「何」を伝えたいかを決める。
 - ・伝えたいことについて、見た人の心をひきつけ、きょう味を持ってもらえるキャッチコピー（短い言葉）を考える。
 - ・キャッチコピーがより伝わるような絵や図を考える。
- ポスターをかくときに工夫すること
 - ・キャッチコピー、絵、図の組み合わせや大きさ、かく場所を工夫する。
 - ・キャッチコピーの文字や形を工夫する。



★★★の例
ヘルメットを、何本かの線で強調している。

★ 12ポイント100文字12ポイント100文字12ポイント100文字12ポイント100文字12ポイント100文字12ポイント100文字12ポイント100文字12ポイント100文字12ポイント100文字12ポイント100文字

3(2) 熱中症のポスターで伝えたいことを、資料を参考に書く

【問う力B：図や表、文章などのつながりを見つけ、正しく理解し、自分の考えを持ち伝える力】

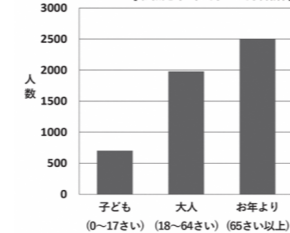
【問う力C：図や表、文章などのつながりを見つけ、新しく課題を考える力】

資料の一部

資料1 【大阪府で熱中しようになった場所と人数】
【令和元年（5月～9月合計）】

住まい	1696人
道路	1343人
仕事場	568人
屋内の公共の場所（飲食店など）	560人
屋外の公共の場所（公園など）	437人
学校	340人
その他	238人

資料2 【大阪府で熱中しようになった人の年れいと人数】
【令和元年（5月～9月合計）】



★★★の例 <【資料1】を選んだ場合>

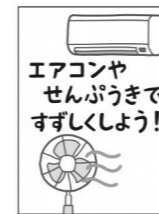
家の中でも熱中症にかかる人が多いので、エアコンや扇風機をがまんせずに使うことを伝えたい。

★ 12ポイント100文字12ポイント100文字12ポイント100文字12ポイント100文字12ポイント100文字12ポイント100文字12ポイント100文字12ポイント100文字12ポイント100文字12ポイント100文字

3(3) 伝えたいことがわかるようにキャッチコピーや絵、図を工夫して、熱中症のポスターの下書きをかき、工夫した点を書く

【問う力E：意欲を持って、工夫して相手に伝える力】

★★★の例 ポスターの下書き 工夫した点



涼しく過ごすことを呼びかけるために、文字を大きくし、扇風機に風を表す線をかいた。

★ 12ポイント100文字12ポイント100文字12ポイント100文字12ポイント100文字12ポイント100文字12ポイント100文字12ポイント100文字12ポイント100文字12ポイント100文字12ポイント100文字

3(4) 熱中症以外のポスターを作るとしたら、どんなことを伝えたいかを書く

【問う力E：意欲を持って、工夫して相手に伝える力】

★★★の例 ゴミの分別の仕方について伝えたい。

★ 12ポイント100文字12ポイント100文字12ポイント100文字12ポイント100文字12ポイント100文字12ポイント100文字12ポイント100文字12ポイント100文字12ポイント100文字12ポイント100文字

わくわく問題からみえる今のあなたの様子

わくわく問題は、すべての教科や活動などで必要な力を問いました。今回のわくわく問題で問うた5つの力は、

- A: 図や表、文章などのつながりを見つけ、正しく理解する力
- B: 図や表、文章などのつながりを見つけ、正しく理解し、自分の考えを持ち伝える力
- C: 図や表、文章などのつながりを見つけ、新しく課題を考える力
- D: 図や表、文章などのつながりを見つけ、順序よく筋を通して考える力
- E: 意欲を持って、工夫して相手に伝える力

です。

これらの力は、今も将来も、とても大切な力です。今のあなたの様子がみえるように、下の形に表しました。どんな形でもよいのです。これから、学習や遊び、行事、友だちとおしゃべり、読書やいろいろな活動に挑戦する中で、今の形が変わっていきます。きれいで大きな形にしたい人には、こつをちよつとだけ教えませぬ。それは、「なぜ？どうして？」と考えることです。さて、今の形はどんな形かな？

児童記入らん

3

(1) _____

(2) 資料の番号 伝えたいこと

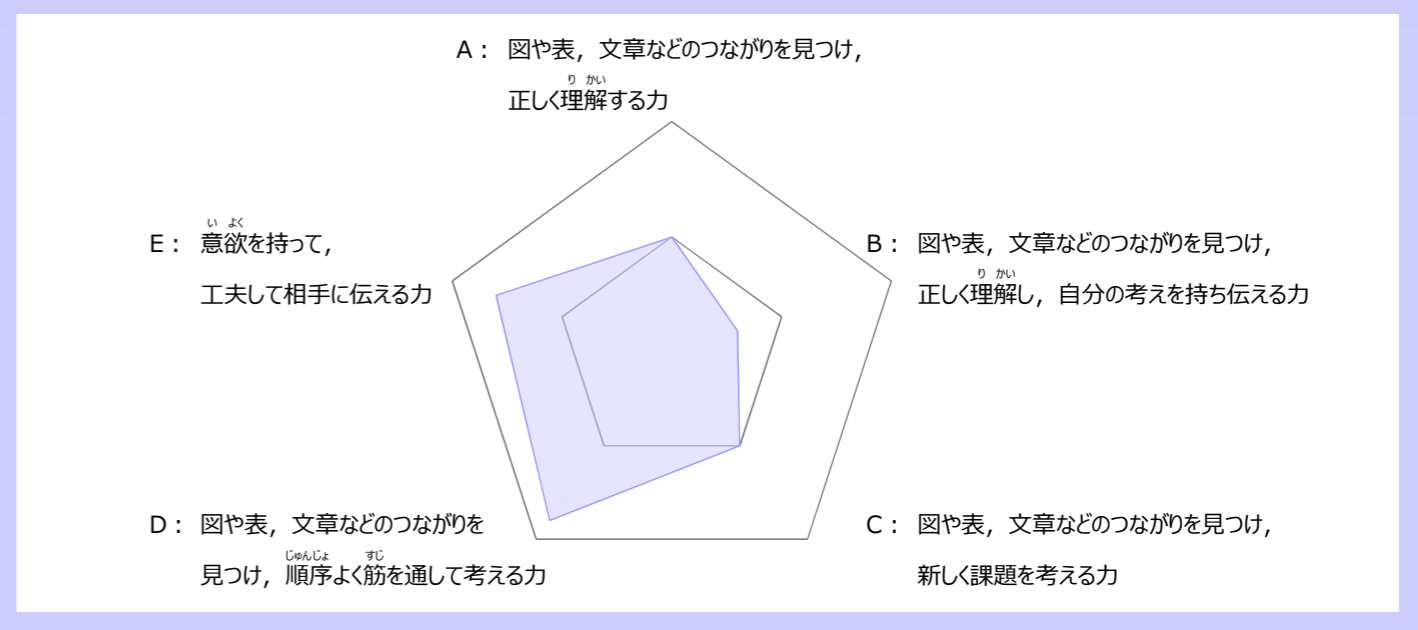
(3) ポスターの下書き 工夫した点

(4) _____

かい書らんはオモテにもあります。

あなたの結果の見方

★★★★ : 正解の中でも素晴らしいもの ★★★ : 正解 ★★ : もう少し ★ : 見直してみよう



個人番号	年	組	番	名前
1234567	5			

1 ひらがなで書かれた文を漢字を使って書き直す

子ども祭りの参加者は、いがいなことにしょうがせいいがいもおおかった。

★★★の答え 意外なことに小学生以外も多かった

1
★★★★

12ポイント100文字12ポイント100文字12ポイント100文字12ポイント100文字12ポイント100文字12ポイント100文字12ポイント100文字12ポイント100文字12ポイント100文字12ポイント100文字

2 意味の通る正しい文章に直す

(1) わたし①は、お父さん②と電車③で乗りました。

(2) 小高い山①の上から町②に見下ろすと、海③がよく見えました。

★★★の答え (1) ③ に (2) ② を

2(1) ★★★★★ 2(2) ★★★★★

12ポイント100文字12ポイント100文字12ポイント100文字12ポイント100文字12ポイント100文字12ポイント100文字12ポイント100文字12ポイント100文字12ポイント100文字12ポイント100文字

3 主語と述語が正しくつながるように述語を書き直す

(1) わたしは、席をゆずったお年よりから「ありがとう」と言いました。

(2) わたしのしょう来のゆめは、人の命をすくう医者になります。

★★★の例 (1)言われました (2)なることです

8(2) 文の主語を答える

①わたしは、②父がさつえいしたわかいころの③母の写真を④妹に見せた。

★★★の答え 1 わたし

12(1) 文を読み比べて同じ内容が説明されている文を答える

人間は野生動物がくらしていた森をはかいしていった。

★★★の答え 3 野生動物がくらしていた森は人間によってはかいされていた。

3(1) ★ 3(2) ★★★★★ 8(2) ★ 12(1) ★

12ポイント100文字12ポイント100文字12ポイント100文字12ポイント100文字12ポイント100文字12ポイント100文字12ポイント100文字12ポイント100文字12ポイント100文字12ポイント100文字

4 日常で使うローマ字を正しく読み書きする

(1)ローマ字を読む (Tôkyô) (2)ローマ字を書く (大阪)

★★★の答え (1) とうきょう ★★★の例 (2) Osaka

4(1) ★★★★★ 4(2) ★

12ポイント100文字12ポイント100文字12ポイント100文字12ポイント100文字12ポイント100文字12ポイント100文字12ポイント100文字12ポイント100文字12ポイント100文字12ポイント100文字

5 ことわざの意味を答える

(1)さるも木から落ちる (2)ぜんは急げ

★★★の答え (1) 4 上手な人でもときには失敗することがある。

(2) 1 よいことだと思ったら、すぐに実行しなさい。

6 反対の意味の言葉を答える

(1)この箱は軽い (2)物のねだんが高い

★★★の答え (1) 1 重い (2) 3 安い

5(1) ★★★★★ 5(2) ★★★★★ 6(1) ★★★★★ 6(2) ★★★★★

12ポイント100文字12ポイント100文字12ポイント100文字12ポイント100文字12ポイント100文字12ポイント100文字12ポイント100文字12ポイント100文字12ポイント100文字12ポイント100文字

9 一文を二文に書き分けるとき、意味を変えないようにつなぐ言葉を書く

天気予ほうは雨だったが、一日中晴れていた。

★★★の例 (天気予ほうは雨だったが。) しかし (、一日中晴れていた。)

10 二文を一文にまとめるとき、意味を変えないようにつなぐ言葉を使って文を書き直す

キノの首は長い。だから、高い木の葉を食べられる。

★★★の例 キノの首は長いので、高い木の葉を食べられる

9 ★★★★★ 10 ★

12ポイント100文字12ポイント100文字12ポイント100文字12ポイント100文字12ポイント100文字12ポイント100文字12ポイント100文字12ポイント100文字12ポイント100文字12ポイント100文字

7 こそあど言葉が指し示す言葉を答える

(1) 今日、わたしは駅前のお店で母にかばんを買っていただきました。これは、前からほしかったものです。

(2) 海にビニルぶくろをすてる人がある。魚がそれを飲みこむと、体内にたまって命をうばうことがある。

★★★の答え (1) 4 かばん (2) 2 ビニルぶくろ

8(1) 『太い』がどの言葉を詳しく説明しているかを答える

①弓のように曲がった太い②きばを持つ、③生き物の④化石が見つかった。

★★★の答え 2 きば

12(2) 文の内容を読み取って同じ内容が説明されている文を答える

まず、切った玉ねぎとニンジンをいためます。次に、そこに肉を入れていため、最後に調味料で味付けします。

★★★の答え 2 肉をいためる前に、切った玉ねぎとニンジンをいためます。そこに肉を入れていためてから、調味料で味付けします。

7(1) ★ 7(2) ★★★★★ 8(1) ★ 12(2) ★

12ポイント100文字12ポイント100文字12ポイント100文字12ポイント100文字12ポイント100文字12ポイント100文字12ポイント100文字12ポイント100文字12ポイント100文字12ポイント100文字

11 相手や目的に合わせて文章を整える

図書委員会からの①お知らせです。今月、新しい本が図書室に②入った。万国博覧会のれきしについての③本です。ぜひ、借りに④きてください。

★★★の例 ②入りました

11 ★★

12ポイント100文字12ポイント100文字12ポイント100文字12ポイント100文字12ポイント100文字12ポイント100文字12ポイント100文字12ポイント100文字12ポイント100文字12ポイント100文字

あなたの結果の見方

★★★★ : 正解の中でも素晴らしいもの

★★★★ : 正解

★★ : もう少し

★ : 見直してみよう

個人番号	年	組	番	名前
1234567	5			

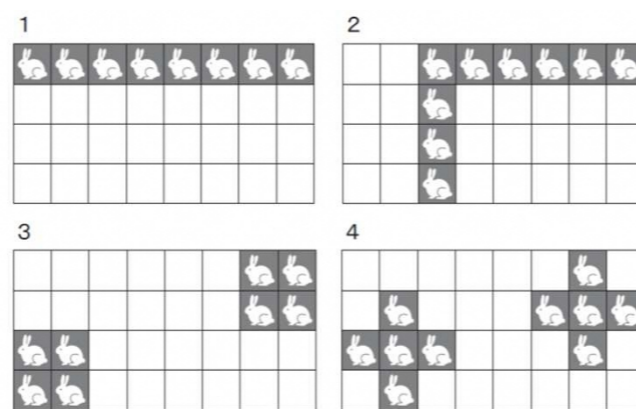
1(1) 長方形の紙の周りの長さを答える



★★★の答え 3 48cm

★★★ 12ポイント100文字12ポイント100文字12ポイント100文字
 ★★ 12ポイント100文字12ポイント100文字12ポイント100文字
 ★ 12ポイント100文字12ポイント100文字

1(2) 紙全体の面積の4分の1しめを示しているものを答える



★★★の答え 1, 3

★ 12ポイント100文字12ポイント100文字12ポイント100文字
 12ポイント100文字12ポイント100文字12ポイント100文字
 12ポイント100文字12ポイント100文字

1(3) 紙の辺の長さをすべて2倍にした紙の面積は元の紙の何倍になるかを答える

★★★の答え 4 (倍)

★★★ 12ポイント100文字12ポイント100文字12ポイント100文字
 12ポイント100文字12ポイント100文字12ポイント100文字
 12ポイント100文字12ポイント100文字12ポイント100文字
 12ポイント100文字12ポイント100文字

1(4) スタンプの面積が4cm²のときのスタンプの個数と面積の関係を表す説明をもとに、スタンプの面積が9cm²のときの説明を完成させる



1辺が3cmの正方形のスタンプ

★★★の例

スタンプの面積が9cm²のときの説明
 (ア, イ, ウには数を, エ, オには言葉や式を使って書く)

スタンプの個数が1このとき、面積は ア : 9 (cm²) になる。
 スタンプの個数が2このとき、面積は イ : 18 (cm²) になる。
 スタンプの個数が3このとき、面積は ウ : 27 (cm²) になる。
 このことから、エ : スタンプの個数の9倍がスタンプの面積を表す数になっている。
 だから、スタンプの個数を○こ、スタンプの面積を□cm²として、○と□の関係を表すと オ : ○×9 = □ になる。

★ 12ポイント100文字12ポイント100文字12ポイント100文字
 12ポイント100文字12ポイント100文字12ポイント100文字
 12ポイント100文字12ポイント100文字

2(1) グラフから、パンダの赤ちゃんの体重を読み取る

★★★の答え 7 (kg)

★ 12ポイント100文字12ポイント100文字12ポイント100文字
 12ポイント100文字12ポイント100文字12ポイント100文字
 12ポイント100文字12ポイント100文字

2(2) ライオンの赤ちゃんの体重 (43.5kg) はパンダの赤ちゃんの体重 (15kg) の何倍になるかを答える

★★★の例 2.9 (倍)

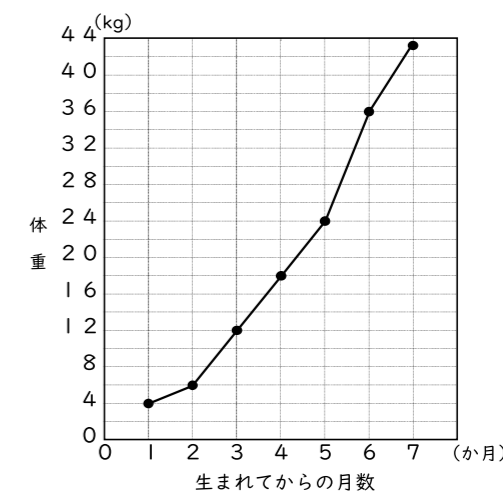
★★★ 12ポイント100文字12ポイント100文字12ポイント100文字
 12ポイント100文字12ポイント100文字12ポイント100文字
 12ポイント100文字12ポイント100文字12ポイント100文字
 12ポイント100文字12ポイント100文字

2(3) ライオンの赤ちゃんの体重を表したグラフを見たそうたさんの発言が正しいかどうか考え、またそう考えたわけを説明する



そうた

グラフをよく見ると、特に5か月から6か月の間で体重の変わり方が大きいよ。



★★★の例 番号 : 1 正しい

わけ : 5か月から6か月のグラフの傾きが一番大きいから。

★★★ 12ポイント100文字12ポイント100文字12ポイント100文字
 12ポイント100文字12ポイント100文字12ポイント100文字
 12ポイント100文字12ポイント100文字

児童記入らん

組	出席番号

1

(1)

(2)

(3) 倍

(4)

ア	cm ²
イ	cm ²
ウ	cm ²
エ	
オ	

2

(1) kg

(2) 倍

(3) わけ

すくすくウォッチ (5年生) ⑥算数 かい答用紙

ウラ

かい答らんはオモテにもあります。

あなたの結果の見方

★★★ : 正解の中でも素晴らしいもの

★★★ : 正解

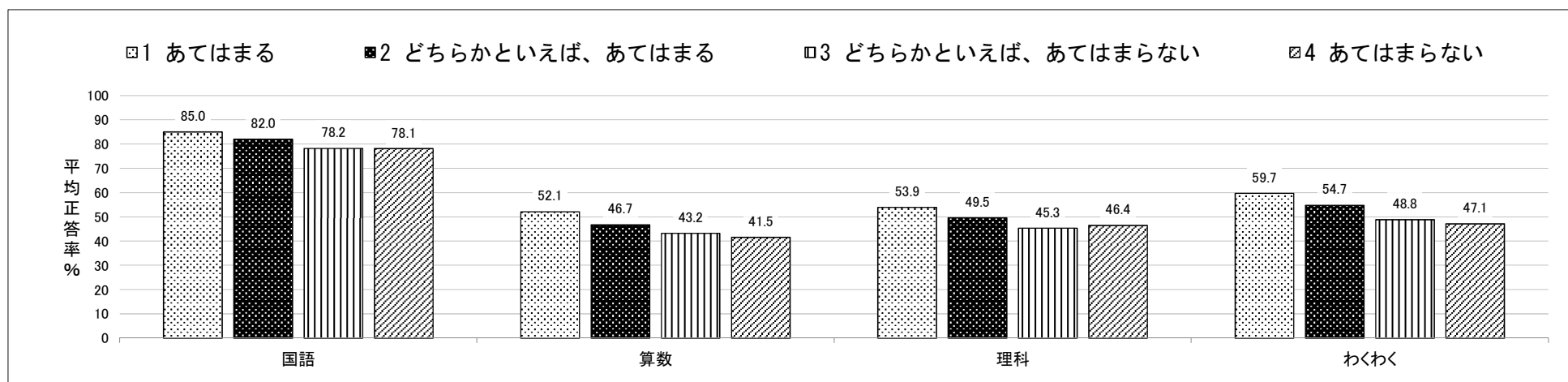
★★ : もう少し

★ : 見直してみよう

(1)	「自分にはよいところがある」と思う
-----	-------------------

選択肢		国語			算数			理科			わくわく		
		児童数	割合(%)	平均正答率(%)	児童数	割合(%)	平均正答率(%)	児童数	割合(%)	平均正答率(%)	児童数	割合(%)	平均正答率(%)
1	あてはまる	3,456	49.3	85.0	3,456	49.3	52.1	3,460	49.3	53.9	3,458	49.3	59.7
2	どちらかといえば、あてはまる	2,504	35.7	82.0	2,506	35.7	46.7	2,508	35.7	49.5	2,504	35.7	54.7
3	どちらかといえば、あてはまらない	723	10.3	78.2	723	10.3	43.2	724	10.3	45.3	724	10.3	48.8
4	あてはまらない	321	4.6	78.1	319	4.5	41.5	321	4.6	46.4	320	4.6	47.1
5													
6													
7													
8													
9	その他	2	0.0	92.5	2	0.0	21.4	3	0.0	50.0	2	0.0	55.0
0	無回答	8	0.1	41.9	8	0.1	26.8	8	0.1	27.5	8	0.1	21.3
全体		7,014	100.0	82.9	7,014	100.0	48.7	7,024	100.0	51.1	7,016	100.0	56.2

※平均正答率: 児童一人ひとりの正答率を平均した値(準正答を含む)。

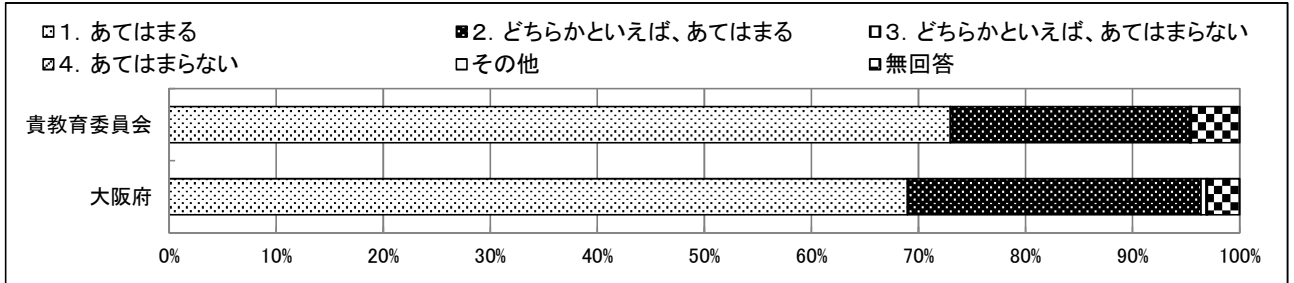


令和3年度すくすくウォッチ
教員アンケート結果
 堺市教育委員会

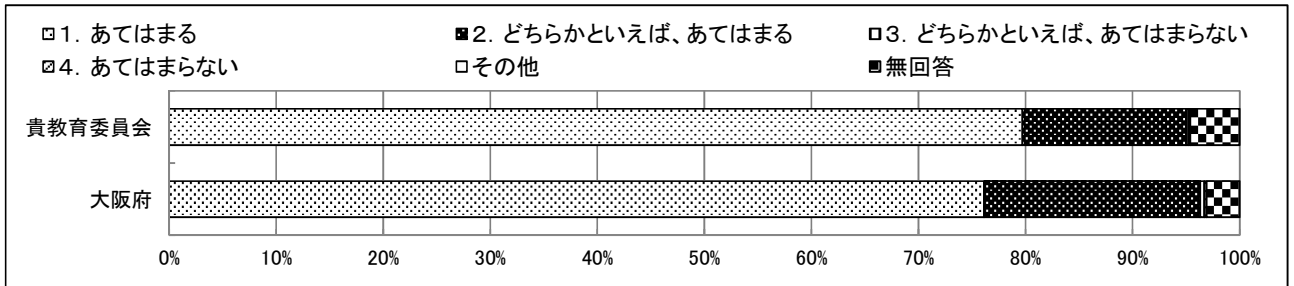
資料5

	教員数
貴教育委員会	891

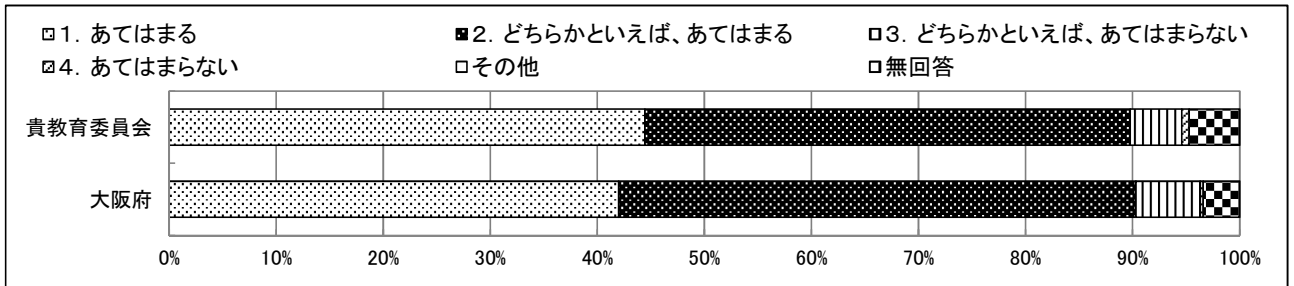
質問番号	質問事項										児童アンケート番号
1	児童一人ひとりのよいところを認めたり、励ましたりする言葉かけをしている										43
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答	
貴教育委員会	73.0	22.3	0.1	0.1	—	—	—	—	0.0	4.5	
大阪府	68.9	27.4	0.5	0.1	—	—	—	—	0.0	3.0	



質問番号	質問事項										児童アンケート番号
2	自分と違う意見であっても互いに認め合うように指導している										54
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答	
貴教育委員会	79.7	15.3	0.2	0.2	—	—	—	—	0.0	4.6	
大阪府	76.2	20.2	0.4	0.2	—	—	—	—	0.0	3.1	



質問番号	質問事項										児童アンケート番号
3	児童が自分の弱みを出せるような雰囲気づくりをしている										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答	
貴教育委員会	44.4	45.3	4.8	0.7	—	—	—	—	0.0	4.7	
大阪府	42.0	48.3	6.0	0.3	—	—	—	—	0.0	3.4	



1 2 3 4 5 6 7 8